

LEOS

発表者: 田中 大輝

## 1. 会議の概要

- 名称:  
IEEE LEOS Winter Topicals 2009
- 主催／共催機関:  
IEEE LEOS
- 開催場所:  
Hilton Innsbruck (Innsbruck, Austria)
- 日時:  
12-14, Jan. 2009
- 発表件数:
  - Oral:149
- 概要:  
歴史はまだ浅く、今回が2回目。Annual meetings, Summer Topicalsと同様に今後は毎年開催されるものと思われる。『Nanophotonics, Nonlinear dynamics in photonic systems, Nonlinear processing in optical fibers』の3つのテーマに分かれて同時進行で発表が行われた。発表は全てオーラルセッションで149件。

## 2. 発表内容

- 田中 大輝 ( *Daiki Tanaka* )

**Title:**

"Low Loss, Small Crosstalk Offset Crossing Structure of Si Wire Waveguide"

**発表概要:**

Si細線交差導波路の損失およびクロストークを低減する、オフセット交差構造の提案。

**反響と感想:**

初めての国際会議で大変緊張しました。聴講者は30人程度。質疑応答では4つ質問をいただきましたが、1つは全く聞き取れず頭が真っ白になりました。残りの3つは、(1)入力側への反射はないのか、(2)90度交差についてのアイデアはないか、(3)小さな交差角にするモチベーションは何か、といった内容でした。スピーキングに関してはたとえ片言でも向こうが汲み取ってくれますが、リスニングができないのは話にもならないと痛感しました。これは質疑応答に限らず、コーヒーブレイクや昼食時にコミュニケーションをとるときでも同じことが言えます。また聴講していて、海外の研究者の発表に対するモチベーションが非常に高いということに気付きました。研究自体はもちろん重要ですが、研究を発表する機会も等しく重要であると教えられた思いです。